## はじめに **〜地域まちづくりのこれまでと今後の課題**

## づくり 条例制定以前の地域まち

1

制定と同年4月の組織再編に 推進条例 2月の横浜市地域まちづくり 取組が進められた。平成17年 業」(平成8~10年度)では り」は都市デザイン室の「区 トナーシップ推進モデル事 な取組が進められた。「パー 後「市民まちづくり」の様々 民局、区役所等と連携した 魅力づくり」で始まり、そ 浜 市 (以下「条例」という 0) 地域 まち っづく

より事業化された「ヨコハマ

「いえ・みち まち改善事業」 り」の検討を経て創設された づくり」と、

阪神淡路大震災

の「災害に強いまちづく

協定に始まる「まちのルール の全国初の地域発意型の建築 より、全国2番目の福富町通

(防火建築帯)、美しが丘など

が合流し、

さらに職員提案に

進していくこととなった。

ち普請」という)と合わせて

民まち普請事業」(以下「ま

地域まちづくり」として推

横浜市における地域まちづくりの歴史	
年 度	できごと
1957(昭32)	福富町通建築協定認可[全国2番目、防火建築帯]
1972(昭47)	美しが丘個人住宅会建築協定認可 [地域発意全 国初]
1975(昭50)	馬車道まちづくり協定締結
1980(昭55)	区の魅力づくり開始
1984(昭59)	まちづくりコンサルタント派遣制度創設 建築協定連絡協議会創設
1985(昭60)	まちづくり功労者賞創設 元町街づくり協定締結
1991(平3)	第1回都市デザインフォーラム 地域展開型事業[5 グループ]
1992(平 4)	都市デザイン室市民まちづくり担当設置 地域まちづくり推進事業 [9 グループ]
1993(平 5)	地域まちづくり推進事業 [9 グループ] よこはま市民まちづくりフォーラム
1994(平 6)	日向山地区地区計画決定 [地域発意本市初] まちづくりセンター検討(6~8年度)
1995(平7)	まちづくりコーディネーター派遣制度創設
1996(平8)	パートナーシップ推進モデル事業(~10 年度) ヨコハマひと・まち横丁展 ひと・まち わ創り 連結成
1998(平10)	第2回都市デザインフォーラム
1999(平11)	人・まち・デザイン賞創設 よこはま市民運営施設フォーラム
2000(平12)	よこはま市民運営施設フォーラムⅡ
2002(平14)	まちのルールづくり相談センター設置(9月)
2003(平15)	いえ・みち まち改善事業創設 まちづくり支援団体制度創設
2004(平16)	区役所まちのルールづくり相談コーナー設置 地域まちづくり推進制度検討委員会(5~10月) 地域まちづくりフォーラム(6~8月、計5回) 地域まちづくり推進条例素案バブコメ(11·12月) 地域まちづくり推進条例制定(2月)
2005(平17)	組織再編[都市整備局設置] ヨコハマ市民まち普請事業開始(4月) 地域まちづくり推進条例施行(10月) 荏田北二丁目R
2007(平19)	地域交通サポート事業開始 身近な地域元気づくりモデル事業開始(~22 年度) 滝頭・磯子P、市場西中町P、大口通R
2008(平20)	横浜・人・まち・デザイン賞再開 東久保町P、一本松P、馬車道R、 本郷町3丁目P
2009(平21)	元町町づくりR、元町通りR、元町仲通りR、 浜マーケットR、浦島町P、湘南桂台R、 三春の丘P、金沢産業団地R、幸浦(MDC)R
2010(平22)	丸山台R、お三の宮P、寺前東町・寺前西町・ 金沢町P、
2011(平23)	新子安P、滝頭・磯子R、大倉山R
2013(平25)	メール・ド磯子R、新桜ケ丘二丁目P
2014(平26)	北方町P、山下地区P、六角橋R、洋光台六丁 目R、東山田準工R
2015(平27)	金沢地区P、下野谷 1・2 丁目P、六角橋P、 戸塚宿R、明るい街コミュニティ戸塚R、松ケ丘P 地域まちづくり推進条例施行10周年(10 月) まちづくりフォーラム(11 月)

※ P:地域まちづくりプラン認定、 R:地域まちづくりルール認定

10年間の成果

があり、

38件の整

備

着しつつある。

2

る。 まちづくりグループが87、 しており、 地域まちづくりルールを併用 24地区であり、 件と日本一の数を維持して 0) プランのうち12は る(平成27年11月14日現在)。 が が認定する組織が34、 17 である。建築協定は180 まち改善事業」によるも 地域発意型の地区計画は 活動団体を登録する地域 例に基づく成果として ルールが19となってい 横浜型の方式 うち8地区は 「いえ・み ブラン が定

があり、

まち・デザイン賞」

表彰されている。

今後の課題

3

あげることができたと考えて の10年間で大きな成果を

定後だけでも141件の応募 た活動を表彰する「横浜・人・ くり活動に顕著な功績があっ 化にも寄与している。まちづ けでなくコミュニティの活性 し、ハードによる課題解決だ 年度末までに116件の応 25件の多彩な活動が まち普請は は条例制 が実現 る。 協定更新のあり方等、 実現メニューの開発、 ハード整備手法の普及、 いるが、 が進 が顕在化している中、 行し、 人口減少・少子高齢 地域で様々な間

> 0 ことに

\*

\*

より

取

n 組

んで

内 部局の特長を生かしつつ、 との連携、 外の様々な分野と連携する が見えてきている。 取り組むべき様々な課 ハード

分野も含めたNPO・コー 用だけで良いのか、プランの くりの進め方が求められてい を見据えた新しい地域まちづ ディネーター・中間支援組織 地域発意を中心とした運 若い担い手の育成 身近な ソフト 建築 将来

感謝 ディネーターの内海氏をはじ 大学教授、 早稲田大学教授、名和田法政 援助を賜りましたことに深く め多くの方々に貴重な示唆 いて寄稿していただいた卯月 この 0 十数年間、 意を表します。 まちづくりコー 本特集に

啓介

都市整備局地域まちづくり課長